

科 目 名			体育（実技）		担当教員	田 中 葵		
					担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単 位 数 授業形態	1 単位	実技	開講時期	後期		
講義概要 ■到達目標 ・さまざまな体の動かし方を実践的に知り、子どもたちの手本となる動きの基本を身につけ、実演できる ・多様な動きを経験できる運動遊びの展開方法や援助の方法を理解し、実践に適用できる。 ■授業の概要 本授業では、子どもたちと共に運動する人として、運動における基本的な知識と技能を身につけます。さらに、子どもの心身の発達を促す運動遊びの知識や展開方法について、実践的に学び、なぜそのような運動が必要なのか、運動によって何が育まれるのかを考えていきます。また、自分たちで運動遊びの展開方法を考えて実践し、子どもたちが楽しく体を動かし、かつ多様な動きを経験できるように援助の方法を学び合っていきます。 ■授業計画 第1回 オリエンテーション：幼児期における運動の意義、子どもたちの遊びと運動との関係 第2回 動きの基本を身につける：移動・バランスをとる・物を操作する動きを使った遊び 第3回 制作から運動遊びへの展開：移動する動き 第4回 制作から運動遊びへの展開：物を操作する動き 第5回 ボールを使った遊び 第6回 固定遊具を使った遊び：遊具の特性、遊具を使った遊び、遊具の配置 第7回 フープを使った遊び 第8回 縄を使った遊び 第9回 パラバルーンを使った遊び 第10回 遊具を使わない運動遊び 第11回 模擬保育に向けて 第12回 運動遊びの模擬保育 グループ1による実践及びフィードバック 第13回 運動遊びの模擬保育 グループ2による実践及びフィードバック 第14回 運動遊びの模擬保育 グループ3による実践及びフィードバック 第15回 幼児期における運動の意義及び保育者としての留意点、まとめ ■準備学習 ・授業で取り入れた技能について自己練習をすること。 ・運動遊びの模擬保育に向けて、グループでの打ち合わせ及び自己練習をしておくこと。 ■評価方法 ・基本的な動きの習得 — 20% ・授業での取り組み（実技への積極的な取り組み） — 50% ・模擬保育 — 30%								
参 考 文 献	齊藤孝「自然体のつくり方」太郎次郎社 2001. 文部科学省「幼児期運動指針」 2012. 中村和彦「子どものからだは危ない！ー今日からできる からだづくりー」日本標準 2004. その他、授業で随時紹介する。		特記事項	毎授業、動きやすい服装で参加すること。 上履きを持参すること。				
	卒業・免許状・資格との関連			幼稚園教諭免許状必須 保育士資格必修		第66条の6に定める科目		
			幼 保	教養科目				